

Okayama Research Park Incubation Center

# ORIC NEWS

# 翔飛 ひしろう

## 入居者紹介

ティースプーン2杯で 5gのビタミンCが摂れる

## 高濃度プロビタCゲル



「高濃度プロビタCゲル」は  
高濃度ビタミンC点滴療法の  
補助を目的として開発されました。

ビタミンCを  
たくさん必要とされる方に  
お薦めいたします。



株式会社アスコルバイオ研究所

詳細は6ページをご覧ください

### — 本号の主な内容 —

巻頭言

研修・交流会活動

入居者紹介

新入居者紹介

イベント案内

No.43 (2014. 1)

## 全ての県民が明るい笑顔で暮らす 「生き活き岡山」を目指して

岡山県知事 伊原木 隆太



新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、県民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

私が、「生き活き岡山」の実現を掲げ、知事の職に就いてから2度目の正月を迎えました。この1年、私は、岡山県をより良くしたい、もっと元気にしたいとの志で、一心に県政に取り組んでまいりました。職責の重さを改めて実感するとともに、岡山県の発展のために働けることの充実感も感じています。

去年は、「教育の再生」と「産業の振興」という2つの最重要課題をはじめ、本県の抱える課題の実態把握や分析に力を注ぐとともに、その解決に向けた「新しい種」をまいた1年でもありました。とりわけ、産業の振興については、企業ニーズの把握に努めながら、環境アセスメントの要件緩和や補助制度の拡充などを行うとともに、安定した操業環境や交通利便性などをトップセールスも交えてPRし、企業立地につなげることができました。

岡山県の未来を見据えたとき、これらの最重要課題を良い方向に動かすことが、子育て支援や医療・福祉サービスの充実、安全・安心を実感できる地域づくりなどに対しても、幅広い波

及効果と将来に向けた好循環を生み出すことを改めて確信いたしました。

こうした私の思いを盛り込み、多くの皆様からご意見をいただいて改訂した「晴れの国おかやま生き活きプラン」は、これからの県が進むべき道筋をお示しした新たな県政推進の羅針盤です。

プランでは「ベンチャー企業の育成・支援」を重点施策の一つに掲げ、インキュベーション施設の活用による創業環境の充実などを通じ、取り組みを進めることとしています。

岡山リサーチパークインキュベーションセンター（ORIC）は、平成15年4月の開所から昨年末までに延べ108者が入居した本県産業振興の一翼を担う企業・創業者の拠点です。今後の、さらなる飛躍に大いに期待しております。

今年は、県政の基本目標である全ての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に向け、さらなる一歩を踏み出す年となります。「新しい種」を数多く芽吹かせ、大きく育むとともに、一つひとつ着実に成果を積み上げる1年となるよう全力を尽くしてまいりますので、県民の皆様には、ご理解と力強いご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

## ■ 平成25年10月度ORIC交流会

### ●バーベキュー交流会

10月17日、ORIC中庭の芝生の上で一年半ぶりのバーベキュー交流会を開催しました。好天に恵まれたものの例年より寒さを感じる夕刻での開催となりました。今回のバーベキュー交流会はORIC関係者のみの参加としたため、参加者は約40名と外部からも参加があった前回の約半数の参加者となりましたが、身近な顔ぶれと話題で盛り上がりました。

ORIC入居企業に勤務していても、「ORIC内で顔を合わせたことがあっても話をしたことがない。」場合もあります。この交流会では名刺交換をきっかけに企業、業種などの壁を越えて交流を開始した方々を多く見うけました。互いの趣味や出身地、共通の知人・関心事などの話題も豊富で、バーベキューに用意した肉などの食材の消化も順調でした。予定した時間を迎えたところで、岡山県産業労働部産業振興課産業支援班の角田班長の中締めで会を終了いたしました。

終了後は多くの参加者の方々の積極的なご協力によりきわめてスムーズに後片づけを行うことが出来ました。



## ■ 平成25年11月度ORIC交流会・セミナー

### ●入居者紹介

#### 「新規事業取り組みの紹介 郵送検査サービス」 免疫分析研究センター(株)

11月の交流会では、入居者紹介として、免疫分析研究センター(株)取締役社長の立藤智基氏より掲題のお話がありました。同社は免疫能評価を主としたヒト臨床試験受託システムの開発・受託を行う一方で、免疫能向上に寄与する機能性食品の開発・製造・販売を行っております。今回は親会社の(株)山田養蜂場が長年培ってきた通信販売のノウハウ・インフラを活用した、新たな郵送検査サービスについてのお話がありました。同社が行う郵送検査サービスは、わずか50 $\mu$ lの血液、唾液、尿などの検体を郵送



によって被検者から送付を受け、検査結果を被検者に返すサービス、とのことです。血液を検体とする場合は被検者が血液採取を容易に行えるよう無痛針メーカーとのコラボを推進し、また血液の血漿成分分離技術を有する会社とのコラボもを行い検査精度の向上を目指すとのことです。アンケート調査ではガン、免疫力、寿命に関する情報入手希望者が高価格であるにも拘わらず多いという結果が得られ、このような調査結果も参考にしながら事業を進めたいとのことでした。アベノミクスによる「規制緩和」も期待しながら、個々人の健康情報提供を「郵送検査サービス」で行う同社の新しいサービスの説明をしていただきました。

## ● ORIC セミナー

### 「3D プリンティングの世界」

ディースメディア(株) ディレクター 小林 徹氏



今話題の3Dプリンティングについて、ディースメディア(株)の小林ディレクターにお話をいただきました。

同社が3Dプリンティングと関わり合うようになったいきさつは、同社が事業の一部として映像製作を手がけており、4年ほど前からアメリカで話題になっていた3Dプロジェクションマッピング(建物など立体的な構造物をスクリーンに見立てて、そこに立体的な映像を映し出す表現方法)に将来性を感じて、検討をされていました。しかし、実際の建物にテスト画像を映し出す機会は限られ

ます。そこで、これもアメリカで評判になりつつあった3Dプリンターを使って、映し出す建物の模型を作って、プロジェクションマッピング映像のテストをされていたとのことです。(ちなみに同社の3Dプロジェクションマッピングの映像は、12月14日から25日に、鳥取砂丘の砂の美術館で上映されました)

そのように始まった3Dプリンターとの出会いですが、3Dプリンターを使った制作のことなどをFacebookにアップロードしているうちに、大変話題となったクリス・アンダーソンの「MAKERS」が日本でも出版され、それに刺激されて同社の企画する3Dプリンターのセミナーには、遠く東京や名古屋から参加される方もあるそうです。

3Dプリンティングの応用は急速に拡がりつつあり、一例として、自分の身体データで作成した自分専用のギブスの紹介がありました。編み目状に出来ていて、これまでの石膏で固めたギブスでは不可能な、骨折部の固定と皮膚の洗浄を両立させることが出来ます。それ以外にも、チョコレートを出力して、ケーキのデコレーションなどに使えるものもあり、工業用以外に様々な用途の可能性が示されました。また、そのように作られた、3Dプリンティングで作成した製品を販売するウェブサイトも開設されているとのことでした。

3Dプリンターには、造型に使われる材料の種類で、光造形タイプ、粉末焼結タイプ、熱溶解樹脂積層法、インクジェット法、石膏粉末凝固積層法など、様々な種類があるそうで、各方法に依り長所・短所があります。価格的に個人でも購入しやすいものは、ほとんどが熱溶解樹脂積層法のタイプだそうで、表面にややざらつきが残るものの、家電量販店で3~5万円で売り出された機種もあるとのことでした。

このセミナーを聞かれた方の一部は、引き続き実施された、自分で3D CADを操作して自分の好みのデザインの造形物を作るセミナーにも参加されました。

---

## ■ パーソナル3Dプリンター入門セミナー

ディースメディア(株) クリエイティブプランナー 津田 英之氏

平成25年11月度交流会・セミナーの終了後、今話題の3Dプリンターのパソコンによるデータ作成実習とパーソナルプリンターのデモンストレーションがありました。参加希望者が20名を超えたため、2回に分けての開催となりました。

今回のセミナーはディースメディア(株)の津田クリエイティブプランナーが講師となり、フリーソフト(Autodesk社の123D Design)を使って、マグカップの3Dデータを作成する入門コースです。

参加者は講師の指導を受けながら、各自のパソコンでパーソナルプリンター用の3Dデータ作成に挑戦しました。産業用の3D CADソフトを使ったことのある人も参加していましたが、多くの参加者は3Dデータのパソコン作成に初めての挑戦でした。このソフトを使いこなすのは難易度が高いとされており、今回のような入門セミナーの開催も少ないため、良い経験になったとの感想が多く寄せられました。後日、参加者には各自が作成した3Dデータからパーソナルプリンターで出力したマグカップが提供されました。



関心が高く、パーソナルプリンターのデモンストレーションを多くの人が興味深く見入っていました。また、参加者からは実習ゆえの手ごたえを感じたとの声が多くありました。

## ■ 平成25年12月度ORIC交流会・セミナー

### ● 入居者紹介

#### 「DC-15 商品のご紹介」 (株)ニューバイオエンタープライズ

山本代表取締役役に同社の紹介をしていただきました。同社は健康食品関連の事業を行っていますが、その核になるのが、DC-15菌です。これは、韓国の納豆から見つけ出された菌で、この菌で発酵させた食品は、血糖値の上昇を抑制する効果がある、とのことでした。



その仕組みですが、この菌を使って食品を発酵させると、発酵産物として、デオキシノジリマイシン (DNJ) という物質が出来るそうで、この物質は、体内にある $\alpha$ -グルコシターゼという酵素と結合して、その酵素が働かなくなるように作用する(阻害)そうです。この $\alpha$ -グルコシターゼという酵素は、米やデンプンなどの食品を食べた時に、その食品を体が消化していく過程で、最後に二糖類から単糖類に分解するときに働く酵素で、ヒトの体は単糖類にならないと吸収出来ないことから、この酵素の働きを阻害すると、血液中の糖分の濃度が高まらないようになる、とのことでした。

このことから、糖尿病の方などが、食後に血糖値が高くなりすぎるのを予防するために用いると、その抑制が期待出来るとのこと、測定の結果、同様の効果が宣伝されている「桑の葉」と同等の阻害活性が認められたとのことでした。

同社は、そのDC-15菌を使って納豆を作る食品メーカーに、この菌を提供したり、また自社ブランドとして、この菌を用いたお茶やサプリメントの販売も開始したとのことでした。

この菌を使って、十分なDNJの濃度を得ようとする、かなり強く発酵させなければならず、そうすると非常に臭いがきつくなるので、同社は、発酵原料として大豆ではなく、小麦で発酵させています。すると臭いも強くなり、効果のある発酵物を得ることが出来たとのこと、お茶やサプリには、小麦を原料にしているとのことでした。

今後は、小麦アレルギーの方にも利用してもらえるように、小麦以外の発酵原料の開発にもトライしていきたいとのことでした。

## ●ORICセミナー

「売れない時代の売り方のヒント！～「物語マーケティング」で売り方を変える～」  
コンサル&プロモーション代表 しんかいけんろう 新飼賢郎氏（中小企業診断士）



中小企業診断士でコンサル&プロモーション代表の新飼賢郎氏より、商品サービスの新しい売り方の提案がありました。新飼氏は総合履物メーカーで商品企画や販促などを担当していましたが、そこでの経験から多くの営業マンが実践している商品情報を提供する営業手法に限界を感じたそうです。

売りたいもののデータやロジックといった商品情報は商談相手の左脳で処理され、新しいデータやロジックが入ってくると消えやすく広がることも少ないので、相手の右

脳に伝えることが有効となるそうです。右脳に伝えることは相手の共感を得、伝えたいことがスムーズに伝わりますので、右脳に伝えることが必要です。そして、商談相手への情報の与え方として物語を使うことは相手の右脳に伝えるルートとして有効で、物語で伝えるメリットは①解る、②残る、③伝わる、であると新飼氏は説明されました。

どうやって物語作りするか体験もあり、その中で良いことだけ言っても相手は感情移入できないので失敗と工夫をワンセットで語ることが重要と説明されました。

セミナー終了後、12月恒例のケーキ（株）アスコルバイオ研究所のヘルシーなノンシュガーケーキを味わいながらの情報交換、雑談などの時間を過ごしました。

## 入居者紹介

# 株式会社アスコルバイオ研究所

代表者 代表取締役 山本 格  
連絡先 岡山県岡山市北区芳賀5303 ORIC 301、302、309、310号室  
TEL 086-201-0325 FAX 086-286-9880  
URL: <http://www.ascorbio.co.jp/> E-mail: [center@ascorbio.co.jp](mailto:center@ascorbio.co.jp)

### <事業内容>

（株）アスコルバイオ研究所は、平成16年9月に岡山大学発ベンチャー企業として設立いたしました。岡山大学名誉教授（薬学部）であり弊社代表の山本格らが、長年の研究により発明したビタミンC誘導体「L-アスコルビン酸2-グルコシド（通称AA-2G）」。国際特許も取得し、安全・安定・持続の三拍子そろったこの画期的なビタミンC誘導体を様々な形で有効利用、普及

させることで予防医療に貢献することを目指しています。

平成17年7月に発売したビタミンC誘導体サプリメント「プロビタC」は、これまで多くの方に愛され着実に売り上げを伸ばし、現在無事9年目を迎えました。そしてこのAA-2Gを用いた商品開発・販売といった事業展開が評価され、これまでに以下のような補助金、表彰を受けました。

- 平成20年：経済産業省・農林水産省の異分野連携新事業分野開拓計画として新連携支援制度に認定。

「テーマ：『プロビタC』及びAA-2G配合商品の販売促進」

- 平成24年：「第4回ものづくり日本大賞」～製品・技術開発部門優秀賞 受賞。

「テーマ：安定・持続型ビタミンC 誘導体の発明と実用化」

#### <新商品「高濃度プロビタCゲル」>

近年、体にやさしいがん治療の一つとして注目されている高濃度ビタミンC点滴療法。ビタミンCを高濃度で体内に取り入れることで、がんや様々な病気の予防・治療につながると言われています。そこで誕生したのが弊社の新商品「高濃度プロビタCゲル」。この商品は、主に抗がん剤治療や高濃度ビタミンC点滴療法の補助を目的としています。治療を受けられている方

に、できるだけ負担をかけることなく、ビタミンCをご自宅でたっぷり美味しくお召し上がりいただける食品を、という思いから誕生いたしました。現在、高濃度ビタミンC点滴療法を実施しているクリニック等でも取り扱いが広がっています。

#### <今後の研究と展開>

また昨年には、これまで研究を重ね開発に成功した脂溶性のビタミンC誘導体（6-アシル-L-アスコルビン酸2-グルコシド）の特許も取得しました。本来水溶性であるビタミンCが脂溶性でかつ安定、そして高浸透性があるということで、これまで明らかでなかったビタミンCのメカニズムの解明といった基礎研究への利用や、化粧品分野および再生医療、生殖医療の現場での利用、新商品開発など、様々な可能性が期待されます。

## 新入居者紹介

平成25年10月に開催された第41回入居審査会により下記2者の入居が決まりました。

| 入居企業名      | 事業概要   | 所在地  | 分野    |
|------------|--|------|-------|
| 松谷化学工業(株)  | ・光合成産物の生産性を向上させた藻類が産出する「でん粉」の量産化技術開発とその用途開発（岡山県との共同研究） | 兵庫県  | ものづくり |
| (株)ホークビジョン | ・「生物追跡用ビジュアルサーボステージシステム」の開発                            | 神奈川県 | ものづくり |

## イベント案内

### ■ 「第2回ベンチャーマーケット岡山」

（主催：ベンチャーマーケット岡山運営協議会、岡山県、（公財）岡山県産業振興財団

後援：（株）東京証券取引所、（一社）日本ベンチャーキャピタル協会、（公財）鳥取県産業振興機構

（公財）しまね産業振興財団、（公財）ひろしま産業振興機構、（公財）やまぐち産業振興財団）

- ◆ 開催日：平成26年2月19日(水) 13:20～17:30
- ◆ 場所：ピュアリティまきび
- ◆ 開催概要：資金調達や販路開拓を希望するベンチャー企業・中小企業と、将来性がある投資先を探す金融機関やベンチャーキャピタル等の投資家等とのマッチングを行います。

## ■ 「おかやま新商品フェスタ 2014 WINTER」

(主催：岡山県、(公財)岡山県産業振興財団)

- ◆ 開催日：平成26年1月28日(火) 10:00～16:45
- ◆ 場所：岡山ロイヤルホテル(岡山市北区絵図町2-4) 入場無料
- ◆ 開催概要：
  - ①展示商談会 10:30～16:45  
新商品・新サービスを有する中小企業様の商品、パネル等の展示会です。
  - ②販路開拓商談会13:00～16:45  
セラーとバイヤーの予約制の個別商談会です。
  - ③販路開拓セミナー 講演会10:30～12:00  
講師：(株)良品計画 監査室長 川ノ上信吾氏
  - ④個別相談会 13:00～16:45  
経営課題の相談をお受けいたします。



# 入居者募集中!!

センターでは随時入居のご相談に応じています。  
お気軽にお問合せください。

## ■ 施設使用料・空き室状況

(2014年1月現在)

| 施設区分  | 面積     | 使用料の月額   | 減額後の使用料※ | 部屋数  | 空き室数 |
|-------|--------|----------|----------|------|------|
| 研究室小  | 約 25㎡  | 45,000円  | 22,500円  | 22   | 9    |
| 研究室大  | 約 50㎡  | 88,000円  | 44,000円  | 30   | 9    |
| 試作開発室 | 約 100㎡ | 175,000円 | 87,500円  | 6    | 2    |
| 創業準備室 | 5㎡/ブース | 5,000円   |          | 6ブース | 4ブース |

※創業5年未満の会社は、入居後3年間は半額になる制度があります。

## ■ 次回募集

原則として3ヶ月ごとに入居審査会を開催しています。  
次回は2月末までに事業計画書を提出された方を対象に、3月中に開催の予定です。  
(創業準備室の募集は随時受付けています。)  
詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.oric.ne.jp>

